

氏名 中田吉光 (Nakata Yoshimitsu)

所属 総合経営学部 経営学科

職種 教授

生年月日 1966年1月6日生

[履 歴]

[学 歴]

1988年3月 国士舘大学体育学部体育学科卒業

[学 位]

体育学士

[職 歴]

1988年4月～1989年3月 大阪府大阪市立生野工業高等学校 非常勤講師

1989年4月～1990年3月 香川県坂出市立坂出中学校 常勤講師

1990年4月～2002年3月 香川県立坂出工業高等学校 教諭

2002年4月～2003年3月 青森山田学園本部 事務

2003年4月～2004年3月 青森短期大学 助手

2004年4月～2009年3月 青森短期大学 講師

2009年4月～2012年3月 青森短期大学 准教授

2012年4月～2015年3月 青森大学 准教授

2015年4月～ 青森大学 教授

[受 賞]

2018年1月15日 青森市スポーツ奨励賞

2018年1月20日 青森県スポーツ大賞

2018年3月31日 青森大学地域貢献賞（最優秀賞3年連続）

2018年8月24日 功労賞（東北体操協会）

2019年3月31日 青森大学地域貢献賞（最優秀賞4年連続）

2020年1月18日 青森県スポーツ大賞

2020年1月23日 青森市スポーツ奨励賞

2020年3月31日 青森大学地域貢献賞（最優秀賞5年連続）

[所属学会]

日本体育学会、日本スポーツ心理学会

[教育活動]

[担当科目]

総合経営学部：スポーツ心理学、救急法、体育実習（器械運動）、体育実習（体力づくり運動）、体育方法学（柔道）、体育実技A、体育実技B、

[卒業研究指導]

スポーツコースの学生らしく、自分の競技経験等からテーマを選び、自分にしか書けない（調査や統計）卒論に取り組むよう指導している。そこで、週一回の授業では、学生一人ずつが調査・研究の進行状況を発表したり、周りからのアドバイスを受けて協力したりなどを行っている。それを通して、個々の学生の発言力が高まり、コミュニケーション能力も向上している。

[ゼミ指導]

2004年度 7名、 2005年度 8名、 2006年度 12名、
2007年度 9名、 2008年度 3名、 2009年度 6名、
2010年度 4名、 2011年度 2名、 2012年度 6名、

[教育指導に関する特記事項]

1. スポーツ心理学における実践（2006～現在）

元シンクロのオリンピック選手が作成したスポーツにおける心理診断テスト（質問表）で自らのストレスパターンを考えさせる。またその集計結果を本学以外のスポーツ選手達の情報を入手することにより、地域・種別といった幅広い分野での心理状態を考察できる。

授業導入では、学生が今旬のスポーツニュース（インターネット・新聞）を取り上げ、それぞれ監督や選手の立場になり、戦略や心理状態などを皆で議論する。

2. 体育実習（体力づくり運動）における実践（2012～現在）

以前はたくさんの遊びの中から自然と得ていた身体能力は、今では意識して養っていかなければならない時代となった。しかも、日常生活の中でもパソコン作業や立ち仕事での姿勢、またリラックスできる自分の部屋ですら座る場所が決まっている。そこから慢性的な身体の歪みが発生し、体調をきたすこともあるため、その歪みを取り除くための身体ほぐしや文部科学省推進の身体づくり運動を参考に体得する。

3. 体育実習（器械体操）における実践（2009～現在）

技を習得するために必要な能力を身に付けるとともに、段階的に自分の運動課題にしっかりと取り組めるように指導している。また、その解決にあたっては自らの考えや工夫が感じられるような、課題達成（できばえ）楽しさ（喜び）を味わうことができるようにさせている。

内容としては、指導方法は勿論のこと、特に補助方法を習得することで仲間と協力して安全で計画的に活動できるようにしている。

4. 救急法における実践（2006～現在）

日本赤十字社青森県支部主催救急法救急員養成講習会とタイアップし行っている。一般の受講生も参加しており、資格取得（救急法救急員）を重視している。

5. スポーツ方法学（柔道）における実践（2014～現在）

これまで「武道またはダンス」としての中学校選択領域であったが新学習指導要領

では「武道」と「ダンス」を含めた全ての領域が必修となり、特に柔道は授業中のケガが多く、部活動においては死亡事故も出ており、文部科学省からも特別指導に対する通達があった。また、青森県教員採用試験でも柔道は必須となっている。

[研究活動]

[研究テーマ]

1. 男子新体操（徒手運動）について
2. 転回系（マット運動）の指導及び補助について

[著書、論文、総説]

1. 「男子新体操」
ー選手とコーチの独習マニュアルー（アイオーエム社、2009. 2. 2）
2. 「青森大学新体操部の実情」（学術研究紀要 第36巻-第3号、2014. 2）
3. 公益財団法人 日本体操協会 新体操男子規則 2015年度版・2022年度版

[学会発表]

「第16回日本レーザー・スポーツ医科学学会」においてシンポジウム：運動器疼痛対策と運動連鎖を応用としたスポーツ外傷・傷害からの復帰、予防への取り組み、男子新体操の現状を発表する（於：慶應義塾大学日吉キャンパススポーツ棟）スポーツ・レーザー医科学学会（2012. 12. 1）

[その他の活動]

[公開講座、講演、セミナー]

1. 全国指導者・選手合同合宿（2009～2020）
2日間の合同合宿（ジュニア・中学・高校・大学）を行い、全国からの指導者（特に講習）・選手（特に実技）を対象に主催者として開催した。現在では東北・関東・関西・九州の4ブロックに分かれ参加者は600名を超えている。
2. 男子新体操公認審判員、男子新体操委員会専門アドバイザー（2015. 4～現在）、元男子新体操委員会委員長（2009～2014. 10）
各種全国大会において（インターハイ・全国高校選抜・全日本ユースチャンピオンシップ・全日本ジュニア・全日本社会人等）上級審判及び主任審判員として重責を担い業務にあたっている。
第37・39回全日本ジュニア新体操選手権大会（高崎市）において審判長として審判業務の最高責任者を担った。（2019. 11. 14～11. 17、2021. 11. 11～14）
毎年5月（今年度はコロナ関係のため中止）には県内審判員養成講習会を行っている。
3. 救急法救急員養成講習会（2019. 8. 29～31、2021. 2. 2～3、2022. 2. 14～16）
本学において日本赤十字社青森県支部と合同で開催した。
4. 教員免許状更新講習（2013. 9. 7、2014. 8. 5、2017. 7. 26）

本学において3回、教員免許状更新講習（マット運動並びに表現）を開催した。

5. 講演等

2018（平成30）年度

- ・青森県体操協会総会の中で「青森国体に向けて」と題し講演（ねぶたの家ワ・ラッセ）を行う。（2018.4.7）
- ・青森山田学園100周年記念青森大学公開特別講義「スポーツが人生をつくる」のテーマのもと平昌オリンピックスピードスケート金メダリストの小平奈緒選手・結城匡啓コーチとの鼎談を行う。（2018.6.9）
- ・埼玉昌平中学・高等学校40周年記念演技会の中で講演を行う。（2018.9.9）
- ・青森県大間町立奥戸中学校全校生徒とディスカッションを行う。（2018.9.12）
- ・尾駈地区子どもの健康づくり実行委員会（会場：六ヶ所村立小淵小学校）主催で「子どもの発育と体づくりについて」と題し講演を行い、その後、幼児・児童・生徒並びに保護者教職員を対象に演習を行った。（2018.12.5）
- ・未来のオリンピック・国体などの全国規模の選手育成のための「あおもりスポーツアカデミー事業第3回共通プログラム」を県が開催。練習見学や質問コーナーを設ける。（小学生キッズ2019.2.16、中学生2019.2.23）

2019（令和元）年度

- ・青森県消費生活大学講座を県民ホールにおいて講師（講演）を務める。（2019.7.26）
- ・青森第一高等養護学校の生徒職員が新体操部の練習見学及び体験を行い、最後には質問等の交流を行った。（2019.9.10）
- ・第15回医療法人雄心会発表会（函館国際ホテル）において「年輪～築きあげた確かなもの～」のテーマのもと講演を行う。（2019.10.6）
- ・青森県立青森第二養護学校の中学部45名（12/3・5）、高等部65名（12/10・19）に新体操の実演並びにマット運動の指導を本学新体操部員とともに進行。

2020（令和2）年度

- ・株式会社日本医療企画『月刊 老施協』の取材を受け、「チームのチカラ」と題し、2021年1月号に掲載された。
- ・青森県立青森第二養護学校の高等部61名（12/3・17）、中学部47名（12/4・18）に新体操の実演並びにマット運動の指導を本学新体操部員とともに進行。中等部指導の後には小学部児童を向かい入れ演技鑑賞を行った。

2021（令和3）年度

- ・青森県立青森第二養護学校の高等部（12/10・17）、中学部（12/13・20）に新体操の実演並びにマット運動の指導を本学新体操部員とともに進行。
- ・第56回全国高等学校体育連盟研究大会において指導助言者として参加（令4.1.12～14）。発表者に対する助言や総括など文字起こした内容が報告書として冊子に掲載。

[学内各種委員]

学長補佐、学生委員会委員長

(自己点検評価・認証評価審査対策委員会、ハラスメント防止対策委員会、施設整備将来計画委員会、資格審査委員会、個人情報保護委員会、学生委員会、青森大学学業特待制度継続審査委員会、青森大学スポーツ・文芸特待制度継続審査委員会、青森大学高等教育の修学支援新制度的確認定審査委員会、青森大学特別奨学給付金制度審査委員会、青森大学倫理委員会、社会連携委員会、大学運営会議、質保証タスクフォース、ブランディング推進会議、学生募集タスクフォース、学習支援センター、キャリア支援チーム、留学生支援会議)

[学外各種委員]

1. (公財) 日本体操協会 男子新体操委員会 委員長 (2011. 4～2014. 10)
2. (公財) 日本体操協会 男子新体操委員会 専門アドバイザー (2015. 4～現在)
3. 全日本学生体操連盟 理事 (2008. 4～現在)
4. 東北・北海道学生体操連盟 副会長 (2009. 4～現在)
5. 青森県体操協会 副理事長 (2017. 4～現在)
6. 青森県ラジオ体操連盟 理事 (2012. 4～現在)
7. 青森市スポーツ推進審議会委員 (2015. 4～現在)

[課外活動]

新体操部 部長 (監督 2002. 4～2019. 3)

<国内競技会>

2002～2021 全日本学生新体操選手権大会優勝 (20 連覇中)

2002～2021 全日本新体操選手権大会優勝 (16 回優勝)

<海外>

1. アジア競技大会 (2002. 9)

アジア競技大会にエキジビションとして参加する。(韓国・釜山)

2. 世界選手権大会 (2003. 9)

第 26 回世界新体操選手権大会 G A L A に参加する。(ハンガリー・ブダペスト)

3. 国際大会 (2003. 11、2005. 11)

男子新体操国際オープンで優勝 (2 回) する。

4. 国際活動

(1) UCLA' s National NCAA Champion (UCLA 大学サザン校) のエキジビションとして参加する。(2004. 2)

(2) Unive 'Gym Gala (オランダ)・2006 Feuerwerk der Turnkunst (体操芸術の花火 in ドイツ) 2 カ国において「日本の体操」として招待される。(2006. 12. 20～2007. 1. 16)

(3) ドイツ・ニーダーザクセン州体操協会主催、ヨーロッパで最も人気のあるショ

- 一、2007 Feuerwerk der Turnkunst に2年連続で招待をうける。ベルリン他16都市26公演。観客動員数10万5千人に及ぶ。(2007.12.28~2008.1.18)
- (4) 2011 Feuerwerk der Turnkunst に3度目の招待をうける。ベルリン他23都市32公演・観客17万人から絶賛を受ける。(2010.12.26~2011.1.25)
- (5) オランダ(アムステルダム4公演)・ドイツ(23都市38公演)で演技を披露する。延べ20万人が来場する。(2013.12.19~2014.1.24)
- (6) S4E GYM GALA X-MAS TOUR2014(オランダ4公演・ベルギー2公演)に日本の体操として招待を受け演技を披露する。(2014.12.11~12.27)
- (7) ロシア新体操80周年記念GALA(サントペテルベルク・マリンスキー劇場)に世界各国の代表選手が集結する中、男子(日本だけ)代表として招集され演技を行う。(2015.2.7~2.17)
- (8) タイのテレビ局から青森の魅力として取材を受け放映される。(2016.6.2)
- (9) リオ五輪フラッグハンドオーバーセレモニー(オリンピック引継式)に出演する。(2016.8.22)
- (10) UNIVE GYM GALA PRESENTEERT A TOUCH of GOLD 2016(オランダ)に招待される。(2016.12.27~2017.1.2)
- (11) ベルギー体操連盟主催、ブリュッセル・アントワープで開催されるGymgala2019に招待される。(2019.12.12~12.17)

<特別活動>

1. CM(コマーシャル)

- ・カルピスソーダ2年連続出演(2009.5.9~10撮影)
- ・青森県反射材大作戦CM撮り(2014.9.30)
青県環境生活部県民生活文化課の企画、青森博報堂からの要請で夜間事故を防ぐためのCM(11月より放送)に出演する。

2. TBS系列連続ドラマ「タンブリング」出演(2010.1.25~毎週土曜19:56~)

3. 特別公演

①「青森大学男子新体操部」(2013.7.18)

国立代々木第二体育館において世界的デザイナー三宅一生氏の発案により、その名も「青森大学男子新体操部」という一夜限りのショーを開催した。皇室から人間国宝の方をはじめ、世界のマスコミ関係者200社を含む3000人を招待してのイベントで想像を絶するものであった。その演出に Daniel Ezralow(パリコレやソチ冬季オリンピック開会式演出)、その他、モーショングラフィックは中村勇吾、音楽はオープンルールアンサンブル、ミュージックスーパービジョンは畑中正人、ドキュメンタリーフィルムディレクションは中野裕之と各界で活躍するクリエイターが参加した。

② 国宝坂東玉三郎演出の「バラレ」(赤坂アクトシアター)に一ヶ月に及ぶ稽古と公演に出演させる。(2015.3.7~3.15)

4. 映画「FLYING BODIES」(2013.10.3)

- ① 全国上映に先駆け本学において映画「FLYING BODIES」(新体操部のドキュメンタリー映画)を上映する。(11月30日～テアトル新宿・12月12日立川シネマシティー・12月14日～テアトル梅田で上映、2014.1.2BSフジで放送)
- ② 映画「FLYING BODIES」DVD化(2015.3.18)
2014.11.23～24の両日行われた第1回こども国際映画祭 in 沖縄(KIFFO)でグランプリを受賞。そのことも機にDVD化され販売、レンタルビデオショップにも置かれることになる。
5. NHK青森と「元気あつふる体操」制作(2014.3～2021.3)
平均寿命が全国最下位の青森県。「脱!短命県」のキャンペーンとしてNHKのテレビやラジオで流せる体操を作り、県内40市町村を廻りながら地域の人たちと触れ合いを企画。
6. 報道番組・雑誌掲載
2018(平成30)年度
- ・青森放送「ZIP! FRIDAY」情報番組のゲストコメンテーターとして出演する。(2018.4.6)
 - ・BS11『ザ・チーム 勝利の方程式』2ヶ月間番組取材(4月～5月)
 - ・NHK『聖火のキセキ』の番組取材。泉浩アテネ五輪柔道銀メダリストとの対談。(2018.5.27～28)
 - ・テレ朝『とくもり!』取材。6/16放送予定。(2018.6.4)
 - ・NHK『有田Pおもてなす』に本学OBの「BLUE TOKYO」出演に際し、昨年新体操全日本優勝演技を使用。(2018.6.9)
 - ・BS11『ザ・チーム 勝利の方程式』22:00～2:30放送。(2018.6.15)
 - ・NHK総合『聖火のキセキ』19:30～19:57放送。(2018.6.29)
 - ・RAB「勝ち飯プロジェクト」の取材で料理研究家なぎさなおこさん、栄養士佐藤由衣さんとともに取材を受ける。(2018.9.20、11.7)
 - ・「教育学術新聞」高等教育の明日われら大学人のコーナーの取材を受ける。(2018.10.2)平成30年11月7日(水曜日)第2747号で紹介される。
 - ・BS1『聖火のキセキ』14:00～再放送。(2019.1.29)
 - ・全日本新体操選手権大会優勝インタビュー「SKYA」の取材を受ける。(2019.2.25)
- 2019(令和1)年度
- ・ABAにてインカレ18連覇達成の様子が放送される。(2019.8.28)
 - ・雑誌「anan」の絆のテーマのもと取材を受ける。(2019.9.29)
- 2020(令和2)年度
- ・ABAにてインカレ19連覇達成の様子が放送される。(2020.10.28)
 - ・RABにてインカレ19連覇達成の様子が放送される。(2020.10.29)

<演技会>

2018年度の演技会

第11回青森県民スポーツ・レクリエーション祭(7/7)、埼玉昌平中学高等学校開校40周年記念演技会を行う(9/9)、老人介護施設「はるかぜ」(岩手県滝沢市・9/29)、「BLUEフェスティバル 2018」(9/30)、「山形フェスタ」(10/14)、小林市新体操演技会(宮崎県・11/10)、大阪昇陽高等学校演技会(12/15)、第30回広島市新体操選手権大会エキジビション(12/23)、ローズプリンセスバレエスクールの発表会(12/25)、青森市成人式演技披露(1/13)

2019年度の演技会

第12回青森県民スポーツ・レクリエーション祭(7/6)、白石演技会(8/31)、小林市新体操演技会(宮崎県・11/9)、第31回広島市新体操選手権大会エキジビション(12/23)、大阪昇陽高等学校演技会(12/28)、OKB体操発表会(岐阜・2/15)、ひらかわドリームアリーナ落成式に係る記念アトラクション出演(3/28中止)

2020年度

コロナ禍により行っていない

2021年度

愛知県武豊町商工会主催による異業種交流会に参加(12/4~5)